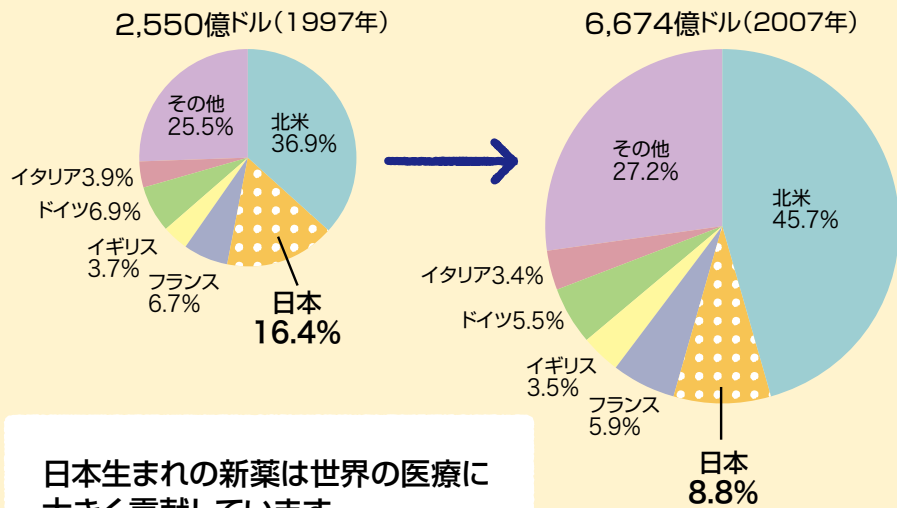


# 製薬企業は新しい技術と革新性を求めて毎年、多額の研究開発費を投じています



2007年の日本の医療用医薬品生産額は約**5兆8280億円**です。薬価切り下げなどで成長が抑制されているため、10年間で12%程度の伸びに留まっています。世界の医薬品市場の中で日本市場は北米市場に次ぎ第2位ですが、シェアはこの10年で約2分の1になっています。一方で、研究開発費は年々増加し、2008年には売上高の**12.11%**にも達しています。医薬品製造業の研究開発費比率は、他産業と比較して、際だって高い比率になっています。

## ■ 世界の医薬品市場

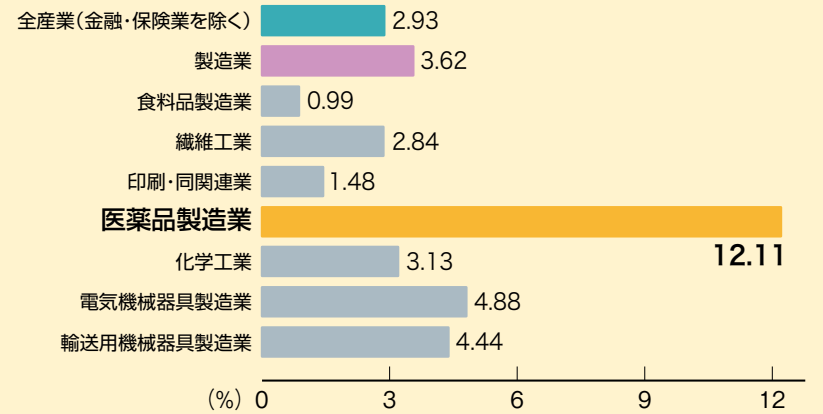


## 日本生まれの新薬は世界の医療に大きく貢献しています

日本で開発された新薬は、欧米をはじめとした諸外国へも数多く進出して高い評価を受けています。世界の売上高上位100品目のうち日本で生まれた医薬品は1割以上を占め、これはアメリカ、イギリスに続いて3位です。

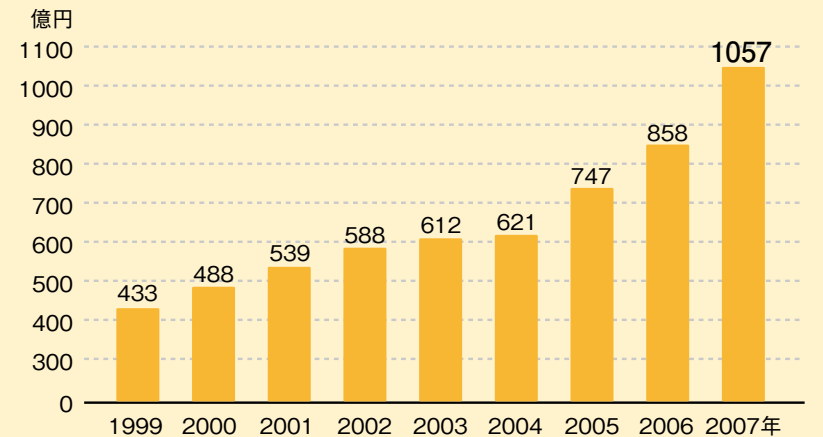
出典：IMS MIDAS 2008  
(製薬協ガイド2009より転載)

## ■ 日本の産業別研究開発費の対売上高比率



出典：総務省「科学技術研究調査報告」2008

## ■ 製薬企業の研究開発費 (各年の売上高上位10社の平均研究開発費)



出典：製薬協DATA BOOK 2009